

東松島市医師団リレートーク 第17回

～医療現場のドクターからのメッセージ～



今回のリレートークは、やもと眼科 劉孟林院長にお話を伺いました。同院については、市内唯一の眼科医として眼に関する医療を提供いただいています。

劉院長から、一般的に病名は知られていても実態が知られていない緑内障についてお話いただきました。決して他人事ではない病気であることをはじめ、この病気の内容を知り、上手につきあう方法まで、知れば納得の貴重な情報満載となりました。



やもと眼科

劉孟林院長

■診療科 眼科

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:45～12:00	○	○	○	○	○	○
14:30～18:00	○	※	△	○	○	△

休診日:水曜午後、土曜午後、日曜、祝日
 ※火曜午後は休診日となっているため、通常の診療は行っていない。電話応対は17時まで。



東松島市矢本字大溜343番地



劉先生からの健康基礎クイズ

(○×で解答)

- Q1: 緑内障にかかったら、すぐ目がかすむ。
- Q2: 緑内障にかかったら、運転免許更新できない。
- Q3: 緑内障手術をすれば、また見えるようになる。

正解者には抽選で「ゆが」と利用券3枚セットを3人の方にプレゼントします。応募方法については質問受付欄を参照いただき「健康基礎クイズプレゼント係」と明記ください。

※健康基礎クイズには株式会社コスモスポーツ様から協賛をいただいています。今後も健康に関する重要情報をクイズ方式で出題し、知識の定着を目指します。また、協賛企業の募集は随時行っていますので、問い合わせは下記までお願いします。

川井先生からの健康基礎クイズの正解は

1. 関節痛や頭痛は悪天候の前や低温の日などに悪化することがある→○
2. 痛みは疾患や身体、心理ストレスの異常を警告し治療や安静、生活の見直しを促す役目がある→○
3. 慢性的な痛みをもつ患者さんでも可能な範囲で散歩や運動をすることが望ましい→○

■緑内障と年齢の関係

日本人の平均寿命は男性80歳、女性87歳と、高い水準にあります。健康的な老後を過ごすには、身体の健康はもちろん、目の健康も維持したいものです。

そこで、緑内障と年齢の関係はどうなのでしょう。緑内障とは、眼の神経が、何らかの原因で、年齢とともにゆっくり(まれに急激に)減ってしまふ、見えにくくなる病気です。

緑内障と診断される平均年齢は51歳です。我が国の40歳以上の方は20人に1人、70歳以上の方では7人に1人が、緑内障です。その緑内障にかかっている人の9割が治療を受けていないようです。

つまり、通院中の緑内障患者は、わずかに1割で、残りの9割が気づかないまま過ごしているか、治療や通院をしていないのです。

■緑内障の自覚症状とは

未治療の緑内障が多い理由は、その、自覚症状のなさです。

最近ある調査で明らかになつたのは、緑内障のことを

98%の人は知っているが、その症状を知るのは4割未満、そしてその半分近くの方が、緑内障の「視野欠損」とは、黒くなる」と誤解しているようです。

実は、緑内障の視野欠損は、最初から無症状で、痛くもかゆくもないです。視力も良好です。自分では気づきにくいのです。かなり進行してから、初めて、視野の一部がかすんでいると気づくのです。

知らない間に緑内障が進行してしまうなんて一では、一体、どうすればよいのでしょうか。

■緑内障の早期発見

基本は目の定期検査です。40歳以降の方は、年一度の健康診断の際、可能なら「眼圧測定」と「眼底写真」を撮ることをおすすめします。

眼圧が21を超える場合、あるいは眼底写真で異常が見つかった場合、眼科を受診しましょう。健康診断で目の検査を受けられない場合には、直接眼科へ相談してみるのも良いでしょう。

■緑内障と言われたら

緑内障はゆっくり視野が欠けていく病気ですが、すべての人が日常生活に支障が出るほど進行するものではありません。緑内障になったからといって、運転免許の更新が全くできないということもありません。大事なことは、緑内障という病気や症状についてよく知ることです。多くの方は、点眼薬による治療で進行が遅くなっているため、普通に日常生活を送ることができています。

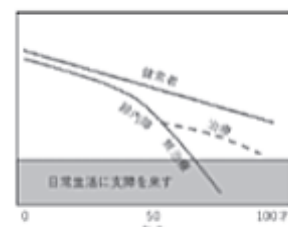
■点眼薬の継続と定期検査が肝心

治療法には点眼薬、レーザー、手術などありますが、点眼治療で眼圧の安定を図るのが基本です。

しかし、人によって、適正な眼圧が違います。例えば、眼圧が20以下になれば、緑内障が進行しなくなる人もいますし、一方で眼圧を15に下げないといけない人もいます。

■治らないけれども悪化予防

図で示したように、緑内障治療の目標は、悪化の予防です。



緑内障と診断されたとしても、寿命を全うするまでに不自由な視機能を維持するために、緑内障を知り、緑内障を抑えることが大切です。

■信頼と期待に応える医療を目指して

当院は地域に密着する眼科診療所として、質の高い眼科基本診療を提供します。幅広い眼科基礎疾患の診断と薬剤投与による治療、ならびに白内障や糖尿病による視力障害、網膜裂孔、(狭隅角)緑内障などの手術治療を通じて市民の皆さんに信頼される眼科を目指します。今後ともよろしく願います。

【質問受付欄】

本コーナーでは、皆さんの知りたい医療に関する情報を募集します。例えば、血圧が高いと健康によくない理由を教えてくださいなど、関心のある分野で結構です。いただいた質問は、専門の先生が登場する回に紙面で紹介し、回答します。「健康基礎クイズ」の答えと先生への質問を記入のうえ、はがき、ファックス、電子メールにて下記までお願いします。

■住所 東松島市矢本字上河戸36-1 東松島市保健福祉部健康推進課宛
 ☎ 0225-82 1244 ☒ kenko@city.higashimatsushima.miyagi.jp